

事務事業名	小中学校スポーツ・文化活動振興事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 飛田博志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線) 2283
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:1 -100:0:1	大事業名 小(中)学校教育振興総務管理事業 中事業名 小(中)学校教育振興総務管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒	スポーツ・文化活動に親しむ
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	市内小中学校のスポーツ・文化活動に関する備品等の整備(令和3年度事業)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
小学校 遊具の設置や修繕、撤去、その他体育や文化活動に資する備品購入 中学校、部活動で使用する備品(スポーツ用品、楽器等)の購入や、体育用設備の修繕・備品購入	学校における教材備品は別事業に整備を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 小中学校整備校数	校			25	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
消耗品費 1,708千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
修繕費 1,183千円		県支出金	千円			
備品購入費 11,612千円		地方債	千円			
		その他	千円			
合計 14,503千円		一般財源	千円	0	0	14,503
	事業費計	千円	0	0	14,503	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	小学校では遊具の新設等、子ども達が体を動かす機会が増えた。 中学校では、部活動の用品の補充が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	単年度事業ということで、計画性のある整備ではなく、日頃整備の出来ない備品の整備などはあまり整備されなかった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	令和3年度のみでの事業であるため、改善余地はない。